



外国文献紹介

非虚血性心筋症の患者における MRI の画像所見と左脚枝疾患との関係について

Grigoratos C et al : Magnetic resonance imaging correlates of left bundle branch disease in patients with nonischemic cardiomyopathy. Am J Cardiol 121 : 370-376, 2018

筆者らは、非虚血性心筋症（NIC）で左脚枝疾患（LBD）の疑われた患者 196 例に対して、12 誘導心電図および心臓 MRI 検査を実施した。心筋の線維化の評価には、遅延ガドリニウム造影法を用いた。その結果、心室内伝導障害のない群に対して、LBD 群は遅延ガドリニウム造影効果（LGE）が特に心室中隔に多く認められた。また多変量解析により、心室中隔の LGE は LBD と強い関連性があることが示唆された。そして、NIC で LBD を伴う症例では、心室内伝導障害のない症例と比べて、左室の再構築が進み、左室機能が悪くなる傾向があると述べている。

瀬戸一彦